

## 『クレーン吊り降ろし中、隣接する型枠材に指が挟まれ負傷』

発 生 年 月	平成 年8月
時 刻	11:45 頃
被 災 者	解体工(35歳)
傷病名・部位	右中指挫創（不休災害）

- ◎ 発生状況
1. 新築工事で、当日は型枠解体作業と解体材の整理作業を行っていた。
  2. 被災者は指示された場所で、移動式クレーン(60t)にて屋上にある型枠解体材の荷降ろし作業を共同で開始した。
  3. 屋上からの袋詰めされた吊荷は一旦地上に置かれたが、被災者は置き場所を再度修正しようと吊り上げを行った。所定の場所へ降ろそうと吊荷に手を添えているとき、吊荷が下がり既に降ろされていた型枠材と吊荷の間に右手中指を挟まれ負傷した。

## ◎ 被災状況



## ◎ コメント

- ・合図者及びクレーンオペは、荷降ろし場所を事前に確認し選定する。  
(足元は万一荷崩れが生じても退避出来得る場所で、挟まれる対象物がないか確認する)
- ・クレーンに対して合図を笛による合図等に統一し、運転手もその合図によりクレーンの運転操作をすること。